

お便り

2022(令和4)年 秋号

宮内 専念寺

下記の通り、法座をご案内いたします。お繰り合わせの上、どうぞお参りください。

秋の総永代経法座

10月20日(木) 朝席10:00~12:00 ➡ 軽食
昼席13:00~15:00

報恩講

12月 8日(木) 13:00~15:00
9日(金) 8:30~12:00

御正忌報恩講 2023(令和5)年

1月16日(月) 朝席10:00~12:00 ➡ 軽食
昼席13:00~15:00

春彼岸会

3月17日(金) 朝席10:00~12:00 ➡ 軽食
昼席13:00~15:00

春の総永代経法座

4月20日(木) 朝席10:00~12:00 ➡ 軽食
昼席13:00~15:00

宗祖親鸞聖人降誕会

5月17日(水) 朝席10:00~12:00 ➡ 軽食
昼席13:00~15:00

仏婦連絡(月例会)

10月17日(月) 8:00~10:30
11月15日(火) 8:30~10:30
12月 5日(月) 8:30~10:30

報恩講お待ち受けの掃除を中心として

令和5年 1月16日(月) 法座に兼ねる
2月15日(水) 8:30~10:30
3月15日(水) 8:30~10:30
4月14日(金) 8:30~10:30
5月15日(月) 8:30~10:30

ダーナ金報告(3月末現在)

会員さんからのダーナ懇志金 59,613 円をお預かりしました。又、くさのみ作業所へ、ダーナ金 20,000 円を、7月11日に持参しました。

手を合わせ 仏さまを拝むとき
わたしのツノを 知らされる

はぎたしょうしん
波北彰真氏

【ツノ】今から七十年前、浅原才一さんという人がいました。
画家に二本のツノが生えている自分の肖像画をかいてもらいました。

ツノは心の姿 むさぼり・腹立ち・おろかさ

他人のツノはよく見えるが 自分のツノには気がつかない

手を合わせ 仏さまを拝むとき わたしのツノを知らされる

この言葉のなかで、ツノを貪り・怒り・愚かさの三毒の煩惱に例えています。このツノの例えは、妙好人といわれた浅原才一さんのエピソードからきています。浅原才一さんは、自分のこころの中にある煩惱を鬼に例え、この鬼のすがたが自分の本当の姿であると、お同行の方々に伝えようとしています。そして、その鬼のすがたは、お寺にお参りして聴聞する中で気づかされるのだ、と味わっておられます。

阿弥陀さまは、煩惱によって苦しんでいる私のすがたを見抜き、決して見捨ててはおけないと私を救ってくださるのです。その「私が救われる」という阿弥陀さまのお慈悲を聞いたとき、救われる煩惱だらけの私のすがたが見えてくるのです。そして、私のすがたがわかったからこそ、よりよい生き方がみえてくるのでしょう。

『月々のことば』より抜粋



※納骨堂建設について

建物工事は順調に運び、11月中に完了。12月より備品の設置に移り、2月には完成法要厳修、3月より利用開始の予定です。

ご案内

京都・西本願寺にて

親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年の慶讃法要への団体参拝
(佐伯西組団体参拝・京都観光の旅)

- ・期日：令和5年3月29日（水）～30日（木）一泊二日
- ・参加募集人数：10名（佐伯西組全体で150～200名）
- ・参加費：48,000円
- ・申込締め切り：12月15日（木）
- ・参加希望の方は、専念寺電話（0829-39-0826）まで。

例年の専念寺での団体参拝

本願寺参拝（帰敬式・法名をいただく）、無量寿堂への納骨のための団体参拝は新型コロナウイルス感染状況を鑑み、今しばらく見合わせます。